

企画総務グループ打合せ（平成 18 年度 第 2 回）議事録（案）

- ・ 日 時：平成 18 年 6 月 20 日（火）14:00～16:00
- ・ 出席者：東畑、荏本、柴田、高橋暁、高橋一紀、石井、西川
- ・ 欠席者：山崎，樋口，未政

1. 企画総務 G 前回議事録(4/18)の確認【別紙 - 1】

2. 運営委員会(5/24)報告【別紙 - 2】

3. 企画総務 G（担当，進捗状況，今後の予定）

(1) 支部災害連絡担当委員の推薦【別紙 - 3】

- ・ 規矩先生(関東学院大学)，小宮先生（千葉工業大学）へお願いする。(対応：東畑幹事長)

(2) 文京区の区民提案型大学講座（【別紙 - 11】参照）

- ・ 現在は文京区からの返答待ち。(6/28 に実施の通知を受領.)

(3) 前川企画部長の特別講演会の準備確認【別紙 - 4】(対応：東畑幹事長)

- ・ 前川氏に PowerPoint のファイルを前日までに送付していただけるようお願いする。
- ・ 当日の司会は東畑幹事長。

(4) ニュースレターNo. 9 の進捗状況

- ・ 進捗状況を樋口幹事へ確認する。

(樋口幹事から報告)

- ・ 26 日に編集・校正した後に最終校正を経て校了の予定である。
- ・ No. を 6 月号から 7 月号に変更することを想定している。
- ・ 今回の巻頭言を支部長に，次回を新幹事長にお願いする。

(5) 出張講座【別紙 - 5】

東京都東京都防災展

- ・ 講師料は東京都側から直接支払ってもらう。
- ・ 当日，「首都圏を直下地震から守るために - 地盤工学からの提言」を販売する。

「高校出張講座」

- ・ 「お茶の水女子大付属中」と打合せを行い，次回に講演の内容案を提示することになった。
- ・ 対象を高校生だけでなく，中学生や小学生(高学年)にまで範囲を拡げる。

出張講座の進め方（相手から依頼されやすくするために）

- ・ 関東支部の役員に就任されている大学の方々に，小学生・中学生・高校生・役所（国・地方自治体）やその他の特別会員のそれぞれを対象とした講演可能なテーマや内容（50～100 文字程度）の案を作成してもらう。
- ・ これらを，興味を持ちそうな高校，教育委員会，役所や特別会員などに送付する。
- ・ 以上の対応を主に高橋一紀幹事と西川さんをお願いする。

(6) 港湾の基準改定に関する講習会（【別紙 - 11】参照）

- ・ 会員サービス G と協議中である。

（【その後の報告】講師は長尾室長。開催日は 11 月初めの予定。）

(7) 工業高校の土質試験への支援

- ・ 柴田評議委員より，現場の教員が試験を良くわからないこと，カリキュラムの構成から限られた数の試験項目しかできないことなどが報告された。
- ・ 支援策として，三軸試験の講習会に教員の参加を促す，手持ちの資料を有効利用（ビデオの貸

し出し)が出された。

- ・貸し出し可能なビデオのリストを作成する。

(8) インターンシップ支援

- ・インターンシップの現場の実情に関するコメントが各メンバーから出された。
- ・今後の進め方については継続審議事項とした。

(9) 若手の友の会(支部限定会員)【別紙 - 6】

- ・G-CPD を活用すること、会費を 3000 円程度とすることなどの基本方針が承認された。
- ・研究発表会の際に開催される本部支部懇談会で承認してもらう。

(10) 特別会員へのサービスの検討【別紙 - 7】

- ・「出前講演会」のメニューを作成する。(「(5)出張講座」の に含める。)
- ・「土と基礎」への広告掲載ができることを周知させる。

(11) 山崎副幹事長担当事項についての報告【別紙 - 8】

- ・「新潟県中越地震の斜面復旧工事の紹介の報告会」の開催を会員サービスGにお願いしている。(石原先生を通して豊田先生(長岡技科大)に相談されている。)
- ・茨城県職員に対する研修実施の検討願(都に対する研修事例を松本幹事に送付)
- ・栃木県Gと千葉県Gへ、行事の際には訪問したいという支部長の意向を伝えた。
- ・埼玉県Gへ行事開催について桑野評議員と相談。
- ・研究委員会の中間発表を支部研究発表会で行うように推進している。(金谷委員長の液化化性能設計委員会・安田委員長の宅地の委員会 DSを予定。清水委員長の性能設計の委員会 現在検討中 以上、6/29現在の状況)

(12) 鹿児島地盤工学研究発表会でのDSについて【別紙 - 9】

- ・DSへの応援に、規矩先生と古関先生が対応していただけることになった。

(13) 評議員交代について【別紙 - 10】

- ・新しく評議員になられた増田さんに委嘱状を送付すること。

(14) その他

- ・地盤情報データベースの委員会に国交省から250万の研究費がついたことが報告された。

次回開催：9月4or5日のいずれかで調整する。

以上